

宿題するよ、つやまっ子！

げんぼくんの家庭学習



1 なぜ家庭学習は大切？

家庭で、自分から進んで問題に取り組み、毎日粘り強く学習を継続する力を身につけることは、将来社会人として自立するための力（課題解決力）を育てるのにとっても大切なことです。まずは、家で机に向かって、学習する習慣を身につけさせましょう！

2 家庭学習は宿題が基本

宿題 + α + 次の日の準備

CHECK!

- 机に向かって、学校からの「宿題」をしましょう。
- ゆとりがあれば、プラスα（予習復習・読書等）の自主学習をしましょう。
- 勉強が終わったら、次の日の準備をしましょう。

※部活動のある人は、勉強と部活動との両立も大切です。

学校は、学校での学習を確実に習得させるために、「宿題」を出しています。「宿題」は必ずするように！



3 保護者としてのサポート 1. 2!

1 まずは現状を見つめましょう！

あなたの家庭は
だいじょうぶ？



CHECK!

- 毎日、宿題をきちんとしていますか？
- 机の上をかたづけしてから宿題をしていますか？
- 勉強をする時には、テレビ・ゲームは消していますか？（ケータイを持っている場合は、メール等していませんか？）

2 家庭環境を整え、がんばりを励ましてやりましょう！

CHECK!

- テレビを消すなど、家庭学習に協力していますか？
- 子どものやる気を引き出すためにも、ほめたり励ましたりしていますか？

※やらないことを叱るよりも、頑張ったことをほめてあげてください！



【げんぼくんについて】

日本最初の医学雑誌を翻訳する等、幕末に活躍した津山藩出身の代表的な蘭学者、箕作阮甫は、寛政11年（1799年）9月7日に美作国西新町（現在の津山市西新町）に生まれました。

そして、阮甫の子孫には有名な学者が多数輩出されています。

津山市教育委員会では、この郷土の偉人 箕作阮甫をキャラクター化した「げんぼくん」を津山市の子どもたちの学力向上のシンボルとして定め、登場させました。

みつくり げんぼ